

Withコロナで臨む特別支援教育活動の創造

提案者 小山市立間々田東小学校 教諭

（前任校：小山第三小学校）

大塚 昌宏

I はじめに

令和の時代を迎え、学校における特別支援教育の在り方にも変化が求められるようになってきている。「みんなの教育技術（小学館）」によると、『特別支援学級に在籍する児童の数は、2013年度には小学校で120,906人、中学校で53,975人だったものが、2019年度には小学校で199,564人、中学校で77,112人、小・中学校の通常学級には6.5%程度の割合で知的発達はないものの、学習面または行動面での著しい困難を示す児童生徒が在籍している推計もある』とされている。このような多様化する子どもたちの実態に対応するべく、特別支援教育のさらなる充実が求められている。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に、未だ収束の兆しが見えない中、その影響は特別な支援を必要とする児童にも及んでいる。「学校の新しい生活様式」に基づく教育活動が求められ、これから特別支援教育はどうあるべきかを早急に考える必要性がある。

これから特別支援教育の在り方については、文部科学省の「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」でも議論が進められており、ここでは、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に特別支援教育において求められるものを検討・整理しつつ、「障がいのある子どもの学びの場の整備・連携強化」や「ICT利活用等による特別支援教育の質の向上」等の観点から今後の方策や改善案を検討され、全ての教員を対象とした特別支援教育に関する研修の必要性や、障がいの状態や心身の発達段階等に応じたICTの活用等が話し合われている。

そこで、今回は、特別支援学級に特化した「小山三小スタイルの特別支援教育」を提案したいと考えた。

II 提案内容

1 令和2年度コロナ禍での実践

(1) ICT機器の利活用による個別最適化された支援の実践

- ① タブレットの利活用
- ② 学習ソフトの活用

(2) 特別支援教育コーディネーターを核としたチームでの対応

- ① 原則勤務時間内での教育支援・特別支援・ケース委員会の充実と情報の共有
- ② スクールカウンセラーの有効活用
 - ・保護者との懇談会の開催（不安解消）
 - ③ 学生スクールサポーターとの連携
 - ④ 関係機関との連携
 - ⑤ トランシーバーと放送での情報共有

- (3) 感染症対策に配慮し、地域と連携した体験学習等の工夫
- ① 貸し切りでのイチゴ摘み体験
 - ② スーパーでの買い物体験
 - ③ 小山総合公園
 - ④ 児童の創意を生かした魅力ある行事
 - ・ハロウィン パーティー
 - ・クリスマス会
- (4) U D の 4 つの視点を意識した支援の工夫
- ① 小黒板やメモを活用し、見通しをもたせ、不安を軽減する。 【見通し】
 - ② めあてを明示し、内容を明確に焦点化して全ての児童を活動しやすくする。 【焦点化】
 - ③ 掲示物やメモ等で、内容・手順を視覚的に示して理解への一助とし、わからなくなったら見直すことで不安を軽減する。 【視覚化】
 - ④ 感染症対策に配慮したペアやグループ活動、 I C T のコラボ機能を活用して交流することで、理解をうながし、安心感をもたせたり、交流学級への所属感を深めたりする。【共有化】
- (5) 環境整備と工夫
- ① 快適な教室環境の工夫
 - ② 個に応じた環境作り（パーティションの活用等）
 - ③ 知育、運動機能や興味関心を高める教具の整備・拡充
- 2 令和 3 年度の感染症対策に配慮した新たな試み
- (1) I C T を活用した定期的な交流活動
 - ① 小中連携での中学校ブロッククリモート交流会（学校紹介等）
 - (2) 小小連携での学校自慢
 - ① 本校に招待（小山総合公園の紹介・活動）
 - ② 本校が訪問（須賀神社の紹介・活動）
 - (3) 県南体育館サブアリーナでのスポレク

III 成果と今後の課題

1 成 果

- (1) 関係者ワンチームによる支援体制の拡充
- ① 効率的、効果的な関係者の選定と連携が実践できた。
 - ② 特別支援教育によりや、細やかな情報共有により、保護者の特別支援教育・特別支援学級への理解が深まった。
 - ・令和 2 年度通常学級からの措置替え 5 名
- (2) I C T 利活用が自己表現を容易にしたり、キャリア形成につながる。

2 今後の課題

- (1) 特別支援学級の学級編制の標準の引き下げにより、年齢差のある多様な児童生徒にきめ細かな指導・支援を行うことができる教職員等の人員を確保する。
- (2) I C T を活用することのみが目的化しないよう、今まで空間や時間を共有して得られたもの的重要性を十分認識し、 I C T のマイナス面にも考慮しながら活用する。